

## (2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

### 分野(6) スポーツ・レクリエーション

## 施策の方針① 市民スポーツ・レクリエーションの推進

### <目標とすべきまちの姿>

市民が今まで以上に身近にスポーツ活動に取り組めるようスポーツ環境の整備が進んでいます。また、より一層のスポーツ行事の実施と奨励により、市民のスポーツに対するニーズやライフステージに応じたスポーツ活動が推進されることにより、市民のスポーツ実施率が向上し、スポーツ活動が充足されています。

## 1 事業評価結果一覧表

### 市民活動部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
市民-32	保健体育運営事業	8,906	22,498	1.8	b	B
市民-33	各種スポーツ行事事業	6,536	14,087	1.0	b	B
市民-34	学校体育施設開放事業	23,987	28,518	0.6	b	C
市民-35	体育施設管理運営事業	245,298	275,502	4.0	b	B

## 2 平成26年度末の目標

### 市民活動部

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育運営事業 スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興には、スポーツ関係団体との連携が必要であり、またスポーツ推進委員が地域のスポーツ振興に重要な役割を果たすことから、今後も支援のあり方や質の向上に向けた取り組みを行う。</li> <li>・各種スポーツ行事事業 市民のスポーツ実施率の向上を実現するため、スポーツ関係団体と連携を図り、さまざまなイベント・教室等することで地域のスポーツ及び競技スポーツに振興を図る。</li> <li>・学校体育施設開放事業 スポーツ施設の整備状況が十分とはいえない中、身近な学校体育施設の有効活用により、地域のスポーツ振興を図る。</li> <li>・体育施設管理運営事業 海浜公園水泳プールや西御門テニスコート、深沢多目的スポーツ広場の運営、指定管理者制度等によるスポーツ施設の適正な管理、スポーツ施設予約システムの運用及びPFI事業により整備したこもれび山崎温水プールのサービスの提供を行う。</li> </ul>
--

## 3 平成26年度の取組の評価

### 市民活動部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

レクリエーション協会や 地区スポーツ振興会、スポーツ推進委員、指定管理者との連携により、市民が身近にスポーツ活動に取り組めるようイベントや教室等を実施した。  
 体育協会との連携により市民大会や教室を実施し、競技スポーツの振興を図った。  
 地域でスポーツやレクリエーション活動に取り組めるよう学校体育施設の開放を行った。  
 海浜公園水泳プールや西御門テニスコート、深沢多目的スポーツ広場の運営、指定管理者制度等によるスポーツ施設の適正な管理、スポーツ施設予約システムの運用及びPFI事業により整備したこもれび山崎温水プールのサービスの提供を行った。

## 4 今後の方向性

### 市民活動部

- ・スポーツ実施率60%をめざし、引き続き、市民が身近なところで気軽に参加でき、自ら自主的にスポーツ・レクリエーションが行える環境の整備に努める。
- ・鎌倉のもつ豊かな自然を活かしたスポーツ・レクリエーションの普及・推進を図る。
- ・幼児から高齢者までを対象とした体力・健康づくり教室や運動・体力相談事業などのイベントや教室を関係課と連携し開催する。
- ・すべての市民が自ら生涯スポーツが継続できるよう、スポーツ・レクリエーションを気軽に楽しめる環境の整備を行う。
- ・トップアスリートとの交流会や教室を開催し、ジュニアの競技スポーツへのきっかけづくりや競技力の向上を支援する。
- ・スポーツに関するさまざまな情報を、広報、ホームページ及びツイッター等のSNSを活用し、市民への情報提供の充実を図り、スポーツやレクリエーションに参加しやすい環境を作る。

## 5 平成27年度末の目標

### 市民活動部

- ・保健体育運営事業  
スポーツ関連団体への指導・助言の充実や連携強化を図るとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動の支援を図るため、スポーツ振興基本計画の進行管理を行う。
- ・各種スポーツ行事事業  
あらゆる市民が気軽に身近な場所でスポーツを楽しむことができるよう、地域やライフスタイルなどにあったスポーツの普及・促進を図るため、各種スポーツ教室・イベント等の開催やスポーツ指導者の育成などを行う。
- ・学校体育施設開放事業  
市民が身近なところで気軽にスポーツ活動が行えるよう、地域の学校体育施設(体育館・校庭・プール)を開放する。
- ・体育施設管理運営事業  
市民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動の場の提供や、指定管理者制度等によるスポーツ施設の適正な管理、スポーツ施設予約システムの運用及びPFI事業により整備したこもれび山崎温水プールのサービスの提供を図る。

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 1 評価できるところ

- ・市民が身近にスポーツ活動に取り組めるよう、各種行事・教室を実施した。
- ・体育協会、レクリエーション協会と協働しているが、連携の強化と見直しを進めている。
- ・市民向けのスポーツ行事、指導者の育成を促進している。

### 2 課題・提言

- ・「日常のスポーツ実施率60%」を目標と定めているが、実績が不明であり継続的な実態把握の手法を定めているか不明である。
- ・「競技スポーツ優秀者」への支援は充分なのか。「市民が支援出来る枠組みづくり」の推進が求められる。
- ・市民のスポーツ実施率60%を目指すとするが、現在の実施率はどれぐらいなのかが不明である。
- ・子どもや高齢者は地域で動くため、市民向けのスポーツ行事でその良さを感じてもらうことが大切である。その後、クラブなどで継続して続けられるスポーツを増やして欲しい。